



平成25年 謹賀新年

南ア・荒川中岳から 撮影 若林 潤

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会



会長 前川 幸弘

新年あけましておめでとうございます。

潮 騒

第 35 号
平成25年
1月 1日

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会
〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目五
海事センタービル
電話 〇三・三三三・四〇六六二
FAX 〇三・三三三・四〇六八二

会員ならびに関係の方々には身が引き締まる思いで新年を迎えられた方が多いかと存じます。

東日本大震災の復旧・復興、原発事故の処理に加え、昨年は中国との間の尖閣諸島問題、韓国との間の竹島問題等海洋国家日本としても実に多難な年でありました。

私どもに関係の深い海事産業も、そうした国際情勢の下で円高など内外の厳しい経済要因の影響を受け、軒並み収益が悪化しております。今後暫くは厳しい経営環境が続いていくものと思われれます。わが国の海事産業に対する種々施策が強化され競争力が強化されるところです。それが切に望まれるところですが、それはさておき、私は、会長を拜命して二年になるところですが、その役目柄、一年に幾度か観音崎の戦没船員の碑の前に立ち、眼前を横切る多くの貨物船を見ると、あらためて日本のその日の経済を支えている船舶、その乗組員の献身的な努力、誰にアピールするわけでもなく、黙々

と、その仕事に従事する姿に静かな感動を覚えます。それは、六万余の戦没・殉職船員の方々が想像を絶する困難に立ち向かわれた姿と重なるものがあります。その姿を思うとき、今の状況を打開する勇気が湧いてくる気もいたします。

本年も六万余の英霊に献花をいたす際、どうか業界を見守ってほしいと心に念じて参りたいと存じます。



平成24年8月15日、強烈な日差しが照りつける観音崎公園「戦没船員の碑」には、前川会長はじめ鈴木前会長ら前職および現職役員ならびに評議員、海事関係者ら約40人が参列

終戦記念日献花式

し、終戦記念日献花式が行われた。式典は、例年どおり日本武道館で営まれている全国戦没者追悼式のラジオ実況放送に合わせ進められ、内閣総理大臣追悼の辞に続いて黙とうを捧げた。花輪で飾られた慰靈碑を越えて、東京湾口のはるか南方海上に目を移し、戦没船員の御霊の鎮魂と安らかなることを祈ると共に海洋永久の平和を誓った。その後、天皇陛下のお言葉に低頭し式典を終了した。

お知らせ

第43回戦没・殉職船員追悼式
日時 平成25年5月15日(水)
午前11時開式
会場 横須賀市観音崎公園
「戦没船員の碑」にて
第39回戦時徴用船の最期
大久保一郎遺作展
この日程で準備を進めています
会期 平成25年8月24日～9月1日
会場 靖国神社遊就館 本館玄関ホール

本年も旧年にならぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主な記事

- 【2～7面】第38回「戦時徴用船の最期」大久保一郎遺作展(横浜)
- 【8面】戦没・殉職船員功績調査(事例紹介)
- 【9面】「銀洋丸」慰霊の旅
- 【10面】横須賀海洋少年団「海の日」清掃と献花式
- 【11面】「殉職船員遺族援護事業」お便り紹介

12年ぶり3回目 横浜市で開催 戦時徴用船の最期 大久保一郎遺作展

昨年9月8日から17日まで、横浜市みなとみらいの「横浜みなと博物館（特別展示室）」で第38回「戦時徴用船の最期」大久保一郎遺作展を開催した。会場には横浜市をはじめ首都圏などから遺族や市民1034人が来場し、凄惨かつ壮絶な戦没船

と船員の記録画37点を観覧した。今年もマスメディアの取材攻勢を想定し、大阪から大久保画伯の長女・圭子さん（84歳）と孫の吉田奈津子さんを招いて万全を期したものの、折からの政局が影響して空振り、来場者の拡大につながらなかった。

から観光を兼ねて宿泊して来場することを期待、遺族への案内状を関東地方1都6県に拡大した。

記録画展の首都圏開催は5年前の千葉市以来で、横浜市では12年ぶり3回目である。会場のみなどみらい地区は、商業都市と観光・娯楽施設を併せ持つ一大エリアである。遠方

宿泊の便宜をはかるため、（財）日本船員厚生協会と法人特約を交し、「ナビオス横浜」と「エスカル横浜」に宿泊する場合に特別料金（船員扱い）が適用されることになった。

なお、この取り扱いは今後も継続され、利用する際は「顕彰会の関係者」と申し出ることが必要になる。

9日間に1034人来場

多くの来場者を迎えるためにポスター・リーフレットを作成、遺族など会員と各行政機関、関係諸団体や船社、マスコミなどに事前広報を行った。会期中9日間の来場者は1034人。来場を期待した帆船「日本丸」パークの来客も連日の猛暑で伸びがなく呼び込むことができず、目論



大阪から駆けつけた大久保圭子さん（右）と吉田奈津子さん



NHKプラネットが大久保圭子さんのインタビューを収録

見がはずれたことが痛かった。そんな中で会期中盤の12日10時には後援15団体の一つ、横浜市から鈴木隆副市長が来場し、前川会長の案内で記録画37点を鑑賞した。来場者には今回もアンケートをお

画伯の情念 来場者の心ゆらぐ

来場者の約半数からアンケートが回収され、その7割の方々から感想が寄せられた。その数349通と膨大であることから一部の紹介にとどめることになった。

大半の方々が名前・住所を明記されたが、紙面の都合で文章を要約したことから、「囲み記事」を除いて匿名での掲載となった。また、掲載

願いし、約半数の方から回答があったほか、3割の方々から感想が寄せられたので後に紹介する。

記録画テーマの番組収録

今回、マスコミの取材がなかったもののNHKプラネット（番組製作会社）の取材が行われた。昨年大阪展でドキュメンタリー工房（鈴木昭典代表）が絵画37点を収録したが、放送には至らず仕切り直しとなったもの。会期前日、同工房とNHKプラネットから総勢8人が会場入りし、設営段階から取材を開始。大久保画伯の長女・圭子さんのインタビューと記録画37枚の収録が二日間にわたって行われた。

番組は、記録画を中心に大久保画伯と当時の岡田社長の人間像、時代背景、大阪商船の社風、生存する徴用船員の証言などをテーマに制作され、今春以降、Eテレで放送予定。

順は年代別に10代から性別・現住所・来場の動機・感想の順に紹介する。

10代の驚き

●男性（横浜市）博物館に来て

沈んでいく船の絵を見てカッコイイと思ったし、かわいそうだと思った。船と一緒に沈んでいった船長さんはどんな気持ちだったのだろう。



写真右から近藤さん、加藤さん、鮎川さん、豊島さん

●近藤朱梨さん 神戸市

私たち4人は航海訓練所「大成丸」の実習生です。神戸大学海事科学部で海事関係の勉強をしています。今回、横浜港に停泊していて、日本丸メモリアルパークに遊びに来て博物館を見学。記録画展まで観ることができてラッキーでした。これから海事従事者になるに当たり、歴史を知ることがはととても大切なことなので、これを機会にさらに学習したいと思います。

●加藤茉莉さん 神戸市

戦時徴用船という存在やこんなにも多くの民間商船が沈没してしまったこと。また、そうした状況を克明に描いた記録画あったことなど、何も知らなかったので、とても貴重な機会となりました。この体験を少

でも将来に生かしたいと思います。

●鮎川はるなさん 天理市

徴用船の実相を描いた絵画は他にないと感じ、貴重な資料を見学できてとても勉強になりました。近い将来、船関係の仕事に携わる者として、戦時中の民間船員の歴史を学ぶことができて良かったと思います。

●豊島都朗さん 神戸市

博物館の見学に来て、年に一回しか公開されない絵画に遭遇できたことは幸運でした。記録画が描かれた経緯や時代背景を考えた時、残っていることが不思議な気がします。情景描写がリアルかつドラマティックで大変貴重な資料であると思います。海洋を学ぶ学生として記録画にふれることができて良かったです。

●女性 横浜市 博物館に来て

学校で戦争のスピーチをしたばかりです。インターネットで調べるよりもこの絵を見て、当時のことを感じる方が良いと思った。

●女性 横浜市 博物館に来て

記録画を見て海の戦争の様子がよくわかりました。戦った人たちは本当につらい思いをしたのだと、とてもかわいそうな気持ちになりました。過去の反省を生かして平和な未来を続けていきたいと思いました。

20代の学び

▲男性 千葉市 博物館に来て

船員の道を目指す自分にとって記録画の内容は、他人ごとではなく自

30代の印象

◆男性 東京都 ポスターで

分のこと。先人が守り抜いた船員魂を忘れず、継承しなければならぬと気持ちを新たにしました。

遺作展をきっかけに戦時徴用船を知りました。立派な船と船員を徴用し壊滅させることになるのは、絵から危機的な状況だったことがよくわかります。戦争に良い事は一つもありません。大事な船を守るために

開催させるとい言葉も知りませんでした。また、船員たちが伝えられなかった事を記録画は、大勢の人たちに感じる機会を与えてくれて勉強になりました。大久保画伯に感謝します。

◆男性 横浜市 その他

生々しい描写が実相を物語っていてとても感動しました。当時を考えると、今ある自分の命と比較して考えさせられます。今の豊かな生活は彼らの犠牲の上に成り立っている気がすします。そう考えて、命が次につながるよう意識したいと思う。

40代の感想

■男性 横浜市 日本丸のHPで

作品の一枚一枚にドラマがあって引き込まれました。特に雷撃により棒立ちとなって沈んでいく「ぶらじる丸」、船と運命を共にした大野船長が印象深かった。大野船長の無念さはいくばくなくものであったか、

◆織田華江さん 東京都

祖母から空襲の話をしていろいろ聞かされました。知り合いに劇団関係者がいて、特攻隊をテーマにした演劇を観たこともありましたが、海の関係は初めてでした。1隻に何百人も何千人も乗っている大きな船が、数分間で沈没してしまう。それも4年近くに2500隻も沈められたと知り、戦争の恐ろしさを改めて知りました。すべての絵が凄惨で画家の情念を感じますし、遭難状況を読むと当時の様子が伝わってきて考えさせられました。年々、戦争体験者が減少していますが、大勢の人たちに観てもらって戦争の悲惨さと残酷さをいつまでも語り継いでほしいと思います。



か催抱話者開をと係の味た関展興れ会画き訪頭彰絵聞て二頭らをいす

■男性 横浜市 日本丸に来て

胸が締め付けられます。作品の一つひとつを観ていると、とても痛々しい思いで心がいっぱいになりました。戦争という負の遺産を、決して忘れてはいけなとする作品展示の意義を感じました。



アンケートに見る来場者の傾向

▼会期中、寄せられたアンケートは349通(表1)で回答率33%。回答で最も多かったのは60代で次に70代が続く。

男女別では、男性が女性の2・4倍で、すべての年代で男性が多かったのが今回の特徴である。

60代後期以上は戦中以前の生まれで戦争との関わり強く、特に70代以上の人は、当時10〜20歳の多感な時期であり、戦争の悲惨な記憶が反映しており、特に男性

にその傾向が強いと言える。

▼来場の動機(表2)は「その他」が今回も最多だった。「日本丸や博物館に来て知った」「案内状が送られてきた」が多く、とりわけ前者が抜きん出ている。次いで「新聞で知った」「友人・家族等」が続く。今回マスコミ報道は事前広報に限られたが、これまでの経緯からは会期序盤のテレビ報道が最大の効果を生んでいる。

▼印象調査(表3)は、①とても良かった5点、②よかった4点、③ふつう3点、

(表1) 回答者数 (人)

	男	女	計
10代	15	11	26
20代	17	6	23
30代	21	11	32
40代	35	19	54
50代	34	20	54
60代	56	19	75
70代	45	14	59
80代	23	3	26
計	246	103	349

(表2) 来場の動機 (人)

その他	195
新聞	50
テレビ	1
友人・家族等	47
ホームページ等	18
リーフレット	38
計	349

(表3) 印象の5段階評価(点)

10代	4.42
20代	4.13
30代	4.06
40代	4.05
50代	4.29
60代	4.29
70代	4.49
80代	4.76
平均	4.31

④悪かった2点、⑤とても悪かった1点で、年代別平均点数を表示した。いずれの年代も4点を超えたが、30代・40代が10代・20代より評価が低くかった。

■女性 横浜市 友人に聞いて
絵画を観て戦争の恐さと苦しさは伝わり、寂しく沈んだ気持ちになりました。写真とは異なる描写のすばらしさ、絵に込められた意思や信念のようなものが伝わってきて、訪れて良かったと思います。

■男性 横須賀市 その他
小さい頃から戦記に関心がありましたが、DVDコーナーで映像を見るまで徴用船や船員の存在を知りませんでした。多くの輸送船を失って敗戦したことや船員の待遇が悪かったことにも驚きます。戦争の話は、広島や長崎をはじめ本土空襲、最前線が中心になりますが、船員の話はあまり聞きません。記録画に描かれ

た船員の活躍が後世伝えられていないことが残念です。最後まで責任を果たした戦没船員の供養のためにも、記録画を常設展示してほしい。

■女性 横浜市 友人に聞いて
巡回展の開始から30年、38回目にして初めて拝見しました。密かに描かれ、終戦から37年間も人目にふれなかったことに驚きました。戦後生まれに戦争体験はないので、こうした機会を通じて平和の尊さを皆で考え、語り合い、次世代へつなげたいと思います。帰宅後、家族と戦争と平和について話し合います。

■男性 横浜市 顕彰会の案内で
今回初めて原画を見ることができました。画集などで見るよりも迫力



会期中は連日の記録的猛暑であったが、来場者は熱心に記録画を鑑賞、DVDコーナーで太平洋戦争の経緯を学んだ

があつて大久保画伯の魂を感じました。また、作品が体験者からの聞き取りで描かれたことに、画伯の卓越した想像力を感じます。また、機会があれば足を運びたいと思います。

■女性 横浜市 友人に聞いて
戦争を見聞する機会が少なくなつた今、記録画は貴重な資料です。領土や海をめぐる問題が発生していますが、過去の過ちを繰り返すことなく平和な美しい海を願うばかりです。今後も記録画に描かれたメッセージを広く伝え続けてください。

■女性 鎌倉市 友人に聞いて
大久保画伯は知っていましたが、原画を見るのは初めてです。多くの商船と船員が犠牲になった実相を目のあたりにして、本当に胸が痛みました。今後も平和が続くよう戦争を知らない世代にぜひ見ていただきたいです。

50代の想い

●男性 鎌倉市 友人に聞いて

貿易立国の我が国が戦争することの愚を改めて痛感する。護衛なき輸送船が雷撃で犠牲となった。最後まで船と運命をともにした船長の姿に心が痛む。こうした絵を残すよう指示した社長も立派であり、その思いを継承していくことが大事だ。

●女性 横浜市 博物館に来て

戦時中の出来事は多々あるが、商船と船員が多大な犠牲を強いられたことは知られていません。船にあって多量の海の男を思う時、言いようのないむなしさを感じます。その記憶を記録として残し、国民に知らしめることは有意義なことです。

●男性 横浜市 顕彰会のHPで

日本人は戦争体験を後世に伝えることをあまりしていない。父も戦争に行きました。亡くなる3年ほど前に話をしただけでした。他国が作った映像や絵画を見ることがありますが、この作品のように真相を語るべきだと思います。

●女性 松戸市 友人に聞いて

今まで徴用船の存在を知りませんでした。大久保画伯もこの様な絵を描くことになるとは思わなかったでしょう。国民の命を犠牲にして戦うことに何の意味があります。世界では今も戦争が繰り返され、犠牲になる命が多くあります。平和な時代を生きている私達は、忌まわしい過去を忘れないために常に戦争を見つめる必要があります。

▲女性 横浜市 産経新聞で

貴重な絵画の展示を感謝します。当時父も輸送船に乗っていました。幸いに戦争を生き延びて大阪商船、商船三井の船員として40年、私たちを育ててくれました。悲惨な戦争を話す父を知りません。母からは兵隊さんを戦地に送る船に乗る、父の無事を祈る話を聞いただけでした。絵画を観て死と隣り合わせで生き抜いた父の偉大さを知る思いです。戦没船員のご冥福をお祈り申し上げます。

60代の憤り

▲男性 横浜市 博物館に来て

絵画が描かれたのは私が生まれた頃です。父も輸送船に乗って戦地へ行きました。こんな悲惨な状況だったのかと震えました。父が乗った船は雷撃され、付近のハルマヘラ島に不時着、目的のニューギニアへ行けなかったのが戦死しなかったと話していました。

▲男性 藤岡市 日本丸に来て

戦時統制下で敗戦を暗示する徴用船の最後を描くには、強い信念と決意があったと推察します。貴重な作品を観ることができて幸運でした。



記録画を含む関連展示物68点が理想的に配置され静かな空間を醸し出す。横浜みなと博物館「特別展示室」

▲女性 秦野市 顕彰会のHPで

記録画の情景はどれもが父の死と重なるものばかりです。昭和20年1月29日早朝、基隆入港目前の「くらいど丸」は2発の被雷で沈没しました。久しぶりの首都圏開催と聞いて飛んできました。未だ受け止められず辛い気持ちですが、大久保画伯の情念が感じられました。本年1月には、長崎市護国神社の「くらいど丸受難の碑」をお参りいたしました。

▲男性 横浜市 ポスターで

民間商船が護衛なきシーレーンで戦火の海に沈んでいった。そして戦没船員6万人余もの犠牲を出したことは信じ難い。日本海運が壊滅状態から再起し、今日の高度経済成長を遂げたことを思うとき、戦没船員の存在を考えずして語れないはずだ。

▲男性 松戸市 博物館のHPで

亡父は昭和19年から海防艦で船団護衛にあたり、フィリピン、台湾、小笠原、沖縄など南方海域に出動した。成果はなく多くの船を失ったと話し、遭難船員を助けるにも自守守備に必死で無力さを嘆いていた。海防艦も約半数を失い、1万人に上る戦死者を出した。亡父の船は終戦直前、グラマンの空爆で撃沈したが、幸運にも助かった。資源のない日本にあって海上物流を軽視した大本営の無能さに怒りを覚える。

▲男性 横浜市 友人に聞いて

イギリス駐在で4、5年を含め通算9年の欧州駐在中に多くの海洋画を見ました。その経験から「日本には海洋画家はいない、海を描ける人はいない」と思っていました。海を描ける海洋画家が日本にもいたことを初めて知りました。当時、日本人船員の精神的「気高さ」に心打たれる絵が多く言葉を失いました。



大阪商船貨物船「ありぞな丸」宣伝用絵葉書の原画の前に、1956(昭和31)年大久保一郎画伯67歳。2年後に大阪商船退職1976(昭和51)年1月19日死去、享年86

70代の怒り

◆男性 横浜市 産経新聞で

小学低学年で終戦を迎え引揚げてきました。戦前、内航航路を往復して船に憧れましたので、撃沈された船の話に悔しい思いをしました。バシー海峡では20万人もの英霊たちが海底深く眠っています。台湾の南端、猫鼻頭に潮音寺というお寺があります。バシー海峡で雷撃された船に乗っていた多くの屍が流れ着き、現地の人たちが埋葬して下さいました。

漂流後、生還された中嶋という方や現地の人々によって潮音寺が建立されました。戦争は悲惨です。丸腰で海上輸送にあたった徴用船員たちは、どんな思いで任務を遂行したのでしょうか。御霊の安らかなることを祈るばかりです。(9面に関連記事)

◆小浜洋子さん 川崎市

妻まじい海の戦場を描いた絵を拝見し、父の最期を想い浮かべて胸がつまる思いがしました。父は昭和20年7月25日、敵機48機の爆撃に遭い、鳥取沖で船と共に戦死しました。悲惨な戦争が二度と起きないように、世界中が平和な世の中であることを願って止みません。戦争を知らない若い世代の人たち、多くの人たちに覚えていただきたいと思っています。



い世代の人たち、多くの人たちに覚えていただきたいと思っています。

◆五十嵐温彦さん 横浜市

大久保画伯の記録画は図録で拝見していた。原画から戦時渦の画伯の思いが伝わる。攻撃された者が別の船を救おうと、乗客や他者を労わる当時の船乗りの闘志と空しさに胸を



打たれる名作である。戦時中、戦意昂扬の現われこそ軍は認め奨励

◆男性 横浜市 顕彰会HPで

貨物船の元船長です。戦時徴用船の記録画があることを以前から知っていました。見る機会がなく、わが人生最初で最後のチャンスと思ってきました。終戦時は小学三年生。戦時中は米軍が投下した爆雷が陸上で爆発、激しい爆風を受けました。戦

後は富山県の港に入る貨物船が触雷し一瞬で沈没したのを何回も見ました。戦争の記録フィルムや写真を見る度に暗い気持ちになります。住居近くの英連邦戦争墓地には散歩の途中にお参りしています。戦争で死んだ者には勝者も敗者もありません。

◆男性 横浜市 顕彰会の案内で

昭和19年9月生まれの子が、翌20年1月9日に戦死した父のことが知りたくて顕彰会に問い合わせ色々なことを知りました。絵画展のこととはかなり後のことで、なかなか見る機会がなくやっと叶いました。

したが、このような悲惨な絵画の発表は認められるはずはない。それでも事実を遺しておこうとした岡田社長の高い意思には頭が下がる。四角すべてが海である日本の今は、当時以上に世界と広く繋がって成り立つ国であり、戦争を二度と起こしてはならない。太平洋戦争は物資輸送(ロジスティクス)で敗れた面が大きい。国民一人ひとりにそのアキレス腱を強く認識してもらいたい。

父が乗っていた川崎汽船「久川丸」が沈められた状況は、大久保画伯が描かれた絵と同じ状況だったと思います。戦争の記憶が私たちの代で消えてしまわぬよう、子供や孫の代に伝承したいと思えます。

◆男性 横浜市 読売新聞で

徴用船の存在は聞いていましたが、顕彰会という組織がこうした事業を実施していることを知りませんでした。徴用船と共に命を落とした船員たちは、不本意な死に遭遇し悔しさを感じたことでしょうか。この先何百年経とうとも二度と戦争を起してはいけません。心から戦没者の方々のご冥福を祈ります。

◆女性 横浜市 博物館に来て

商船が壊滅状態になったのを知っていました。その様子を描いた記録画は想像を超えるもので驚きました。6歳の時に横浜空襲に遭い、母

◆女性 横浜市 博物館に来て

戦争は決してあってはならないもの。悲惨な状況の絵を見て胸がしめつけられる思いでした。激しい戦闘の中で国を守り、家族を案じ、船を愛し、命を落し、悲しかったことでしょうか。そうした方々や遺族の悲しみの上に、現在の平和な世の中があると信じました。忘れることなく生きていきたいと思えます。

◆男性 綾瀬市 顕彰会HPで

前回の横浜展は1999年だったでしょうか。この遺作展を見て顕彰会を知り、以後毎年、観音崎公園での追悼式に参列しています。今回、また横浜での開催を知って見学させていただきました。見るたびに大変なことであつたと感無量です。

と二人で真っ赤に燃えるガード下を走り逃げたことを回想します。戦争は一部の主導で始まります。マスメディアの不穏な報道に惑わされず、国民一人々がしっかり平和を見据えなければなりません。

◆男性 狛江市 顕彰会の案内で

父はフィリピン沖で戦死しました。日本軍の無謀な判断の結果が如実に描かれていて虚しさを感じます。戦争を放棄したことを肝に命じ、世界に戦争がなくなることに努力してほしいと思えます。観音崎公園の追悼式に一度参列したことがあります。また妻と共に参加したいと思えます。

80代の嘆き

■男性 茅ヶ崎市 その他

私は昭和18年に官立無線卒で日本郵船に入社し、ラバウル港で陸軍徴用の「給水船」に乗船中、「ぶえのすあいれす丸」が入港していました。数日後、看護婦さんたちが手を振りながら出港していくのを見送った翌日、米潜水艦の雷撃により沈没したことを聞き、大きなショックを受けたことを思い出します。今回の遺作展は、当時大阪商船に入社して戦死した級友のことを偲ぶため来ました。観音崎公園の戦没船員の碑にもお参りに行きました。

■男性 横浜市 顕彰会の案内で

戦後67年、戦争の記憶が忘れ去られようとしている。先の大戦で6万人を超える多くの船員が犠牲となった。当時の米国大統領ルーズベルトは、開戦即、無制限潜水艦攻撃を指令、商船を含むすべての日本船舶に斉攻撃が開始された。もともと忌まわしいことは、14歳から20歳未満の若者が3カ月の速成教育で海上輸送に狩り出され、1万9千人余の多くが死亡したことである。あの無謀な戦争を指導した責任は、日本人の立場では何も追求されず忘れ去られようとしており、痛恨の極みである。

■松井 孝さん 横浜市

私は「瑞穂丸」の機関長の遺族です。戦没船の記録画を観まして、戦没船員の慰霊・顕彰を事業とする顕彰会のご苦勞に感謝しています。また、この絵を描いた大久保画伯と残すことを命じた岡田社長にも改めて

■田辺正彦さん 川崎市

子供の頃に日本郵船の「長崎丸」や「龍田丸」で上海と神戸を往復したことを思い出します。昭和15年に大阪商船の「扶桑丸」で大連へ行き、昭和16年には大連航路に転じた「あるぜんちな丸」で神戸に戻りました。その後、しばらくして東亜海運の「長江丸」で天津に渡り、昭和21年3月に米軍LSTの船底に揺られて針尾（佐世保市）に上陸しました。船好きの小生にとって、当時の懐かしい優秀船が沈没する姿（絵）を観て感無量です。負け戦は絶対にすべきでないことを改めて痛感しました。

■東野 清一さん 横浜市

私は大阪商船「白陽丸」の乗組員でした。昭和19年10月25日朝、千島列島付近を航行中、米国潜水艦に雷撃されて本船は風雪の海に沈んでいきました。総員1450名が犠牲となりました。船員115名のうち112名が戦没し、3人が海防艦に助けられました。その3人の生存者の1人が当時16歳の私です。3発の被雷後積み荷のガソリンに引火し大爆発を起こした状況を鮮明に覚えています。

■芽出隆子さん 横浜市

小学校、女学校と大戦最中を生きてきた者にとって、顕彰会という得たい組織に巡り合ったことを心から感謝しています。広島県生まれで原爆も空襲も振り返るとみんな



■男性 川崎市 日本丸に来て

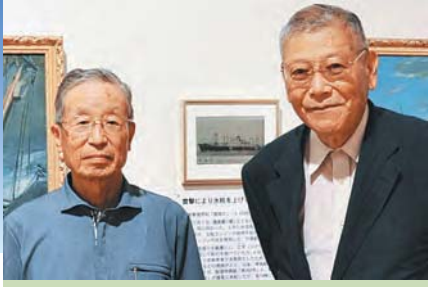
もし、私が数年早く生まれていたら記録画の一人として悲惨な最期を遂げていたであろう。昭和6年に生まれ、幸いにして船員歴30年を全うし、その後水先人として20年、平和な海で過ごさせていただいた。「ぶらじる丸」の大野船長の姿は涙なくして見られなかった。忘れ去られそうになる戦争の悲惨さを、後世に語り継げる形で残してくれた大久保一郎画伯に敬意を表したい。

■男性 横浜市 顕彰会の案内で

大変迫力ある絵に感銘を受けた。昭和19年に父をバシー海峡で亡くし60数年になる。最近、特に父を想う日が多く、海や船に向かって手を合せる日が増えた。今日は絵画のどこかに父がいるような気がしてならなかった。遺作展関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

■小宮 康治 大和市

大変立派な大久保一郎遺作展を見ることができて、若い頃を思い出しました。私は元海軍軍人で輸送船団を護衛したことがあります。絵画の中に「あらびあ丸」の船名を懐かしく思いました。同じマニラ港に停泊していて、輸送船団の多くの犠牲者を見ており、涙が止まらない思いで見入ってしまいました。改めてご冥福をお祈りいたします。



敬意を表します。同行した神戸一中時代の友人、田辺正彦さん（元三菱化成、現在の三菱化学副社長）は戦前の「あるぜんちな丸」に乗船されて当



いで見入ってしまいました。改めてご冥福をお祈りいたします。

戦没船員の功績等の調査 事例紹介

事業の一つに戦没船員の功績等の調査があります。先の大戦において戦時徴用船で輸送業務にあたり、尊い命を犠牲にされた戦没船員は分かっているだけで6万609人に上り、横須賀市観音崎公園にある「戦没船員の碑」には名簿が奉安され、毎年5月中旬に追悼式典が盛大に営まれています。遺族をはじめ親類縁者や関係者の中には、いまだ知らない方々も多く、戦没の状況まで知っている方は、さらに少ないといえます。本会は、こうした方々からの問い合わせにお応えし、調査情報の提供を日常の業務として行っています。そんな中から本号でも事例のいくつかを紹介いたします。



韓国メディアの取材。プサン港沖で沈没した木造機帆船が発見され、船内に遺骨が発見された。引き揚げが検討され、この船の所有者・船名などの探索のため本会を来訪。所蔵文献から情報調査が行われた。

■吉田哲四郎様（横浜市）

私の父・瀧蔵は、宇和島運輸で機関長をしていて、陸軍徴用

船に乗り昭和18年8月に戦死したと聞いています。船名や沈没海域は不明ですが、戦没時の状況を知りたいので教えてください。（電話）

A 父上の乗船されていた「第5高島丸」は昭和18年8月13日、ビルマ（現ミャンマー）のイラワジ河支流バセイン川河口付近で空襲を受け沈没しています。また、父上は戦没船員の碑に奉安されています。

Q 谷口 武様（群馬県渋川市） 私の父・勇吉は、昭和19年7月16日、南方海域で戦死したとだけしかわかりません。乗船名など調べられますか。（第38回「戦時徴用船の最期」大久保一郎遺作展の相談コーナー）

A 名前と生年月日、職名、遭難海域などを本会が管理する「戦没船員名簿」で検索した結果、谷口

勇吉の名前があり、船名は辰馬汽船所屬「天長丸」であることがわかりました。後日、本会所蔵の中から本船遭難状況の記事、「戦没した船と海員の資料館」のホームページから引用した「天長丸」の写真、遭難海域図を資料として送付しました。

■人見英男様（横須賀市）

Q 私の後輩である清水商船学校4期生の宮内公明氏は、練習船「磯風丸」で遭難殉職しています。宮内氏は何科に在学していたのか、遭難した方々の名前などもあわせて教えてください。（電話）

A 宮内公明氏は、同船で同じく殉職された7人の方々と共に、本会の戦没船員名簿に芳名と没年月日（昭和24年7月13日）が浄書され、観音崎公園にある「戦没船員の碑」に奉安されています。清水商船学校の後身、東京海洋大学によれば宮内

靖國神社との協力関係

「戦没船員の碑」に奉安されている戦時徴用船に乗り組んで戦死された6万609人の御霊は、軍属として靖國神社に合祀されています。本会は、1986（昭和61）年10月、靖國神社「遊就館」の修復完成時に初の船員関係記念品として、船員の活躍を伝える佐藤幹児画伯作「ヒ86船団帰らず」（油彩240号）を奉納したのに続いて、翌年12月に

氏は昭和20年4月、機関科に入学されたとの回答がありました。

■井上洋一様（水戸市）

Q 戦死公報によれば、母方の祖父は昭和20年5月25日、フィリピンで戦死となっています。戦時中の軍事郵便で祖父が祖母に送った手紙が残されており、それには「満州第七〇四軍事郵便所気付 満州第七五八九？隊伊藤隊」と記されています。祖父に関する資料なら何でも知りたいと思いい問い合わせました。（メール）

A 戦没船員名簿や所蔵文献により調査しましたが、戦没船員に該当するものがなく、提供された軍事郵便の部隊名、本籍地をもとに靖國神社へ調査を依頼しました。その結果、陸軍兵長であったほか、所属部隊、死没場所など判明し、井上氏に送付しました。

は、大久保一郎画伯遺作「ぶらじる丸の最期」と「沈みゆく船に別れを告げる船員」の複製画を奉納しました。その後、2004（平成16）年には、7月13日から47日間の会期で大久保画伯遺作37点等を展示した記録画展を開催しています。また、遺族や関係者からの日常的な功績等調査の依頼に対し、戦没船員名簿に芳名の記載がない場合には、靖國神社調査課に照会するなど、調査の協力をお願いしています。

寄稿



「銀洋丸」慰霊の旅

岐阜県大垣市 橋本 匡弘

今なお深く海底に眠る伯父の鎮魂を願い、祈りを捧げる

日本郵船の貨客船「銀洋丸」は、昭和18年12月8日早朝、台湾・高雄港南南西約50キロの海域で米潜水艦の雷撃により沈没した。船医として乗っていた私の母方の伯父の佐藤晋平は、脱出できずに戦死したのである。母は生前、伯父の慰霊に行きたいと漏らしていたが、願い叶わず数年前に亡くなった。その後ふとしたきっかけで、本船の遭難状況を日本郵船や日本殉職船員顕彰会からの資料で知り、母の遺志を継いで慰霊の旅に行くことを決意した。

旅行社からは「高雄港までバックで行けるが、遭難海域への手立てはない」と言われた。そこで、長女の

趣味であるダイビング仲間インターネットを通じて支援を呼びかけたところ、台北市の陳玄州という方が支援してくれることになった。陳氏は、ダイビング用品の販売やツアーを営業し、日本留学の経験もあって、奥様が日本人という大の親道家であった。メール交信を重ね、ようやく

6月1日午前日本を発ち、夕刻には高雄に到着した。

2 日午前8時、晴天の強い日射しの中を高雄小港区漁市場港から出港した。「峰辰宅號」という小型の釣り船は、仮眠室はあるがトイレや座席はない。港を出ると、南南西に針路を取り一路遭難海域へ。

付近はフィリピンやインドシナ半島への航路筋で、行き交う大型船の姿も見られた。はじめ穏やかな波でトビウオの飛行や海鳥の群れを楽しむ余裕があったが、次第に荒れ模様となった。酔い止め薬で何とか堪えている状況で、中には寝込む者も出る辛い航海となった。

3 時間後、ようやく遭難海域に到着して慰霊式を行った。まず海底に眠る伯父に対し、家族全員で慰霊にきたことを告げ、白菊や日本からのお酒、お米、お菓子などを手向けた。そして全員で般若心経を奉読して冥福を祈り、お別れを告げた。

帰路も同じく天気晴朗なれども波高し。午後2時過ぎに無事帰港した。

慰霊の旅に漕ぎつけることができた。旅は、私も夫婦と子供たちを合わせた6人の初めての海外旅行である。陳氏には、ホテルや船の手配、車の移動や食事、潮音寺参拝を兼ねた墾丁へのツアーなど、何からなにまで親身になってお世話していただき、感謝の念に堪えない。

船には、船長の黒い台湾犬が乗っていて、人懐こくおとなしい犬で時折寄って来ては添い寝したりして、つかの間の癒しになった。

帰港後は、皆すぐに元気を取り戻して、大きな務めを果たした充実感と喜びに包まれ、爽やかな気持ちに浸ることができた。

3 日は、陳氏が運転するワゴン車で台湾最南端の墾丁(ケンチン)国家公园に出かけた。公園内の猫鼻頭(マウピートウ)にある潮音寺に参拝するためである。この寺は、戦時中にバシー海峡(台湾とフィリピンを隔てる海峡)で米潜水艦によって撃沈された陸軍徴用船「玉津丸」(船員132名を含む4755名戦死)生存者の中嶋氏と高雄市の篤志家呉昭平氏が、同海峡で遭難した御霊を弔い慰めるために共同で建立した寺で、地元では日本寺の愛称で親しまれている。幹線道路から外れて、曲がりくねった道先の草深い場所にひっそりと建つ寺を訪ねると、管理人の李陽明氏が待っていてくれた。



潮音寺の参拝を終えた橋本家の6人

前庭の海を見下ろす位置にブロンズの観音像、本堂には金箔張りの釈迦牟尼像が奉祀され、本堂の壁には建立時に浄財を寄進された方々や団体の名札が掲げられ、日本だけでなく台湾や中国の方の名前も見られた。また、同海域で遭難した「吉野丸」の写真も掲示されていた。線香を手向けて礼拝した後、二階に上がると外縁から草木の間に波静かな海峡を眺望することができた。李さんに心ばかりのお礼をして帰路に就いた。

4 日、高雄から台北経由で帰国した慰霊の旅は、陳氏の献身的なご支援で予定通り全員無事に帰宅することができた。重ねて心から感謝申し上げる。今回、二つの目的を無事に終えて、心の重荷を下ろした達成感を味わうと同時に、「銀洋丸」のような戦争の悲劇を二度と繰り返してはならない、不戦・平和への誓いを新たに旅であった。

あいにく小雨模様の「戦没船員の碑」清掃と献花式

横須賀海洋少年団「海の日」行事に30人

昨年7月15日、横須賀海洋少年団「海の日」行事として恒例「戦没船員の碑」清掃と献花式が実施された▼あいにくの小雨模様となった午前11時、観音崎公園には女子を含む小1から高3までの団員17人と保護者、指導者ら約30人が集まった。これに顕彰会が加わって約1時間、気持ちの良い汗を流した。辺りがすっかり清められると「安らかにねむれわが友よ波静かなれとこしえに」と刻まれた碑文石に全員で献花した。親子で初参加の大地健さん(35)は、小1の息子が少年団に入団したと言「子どもには、海洋国家としての日本の姿を知ってほしい。戦時中のことも小さいうちから教えます」と話していた。そのほか団員たちから活動について話を聞いた。



■荒川将一くん 小4



お父さんは海上保安官です。今、ソマリア沖の海賊対策で派遣されている自衛艦に乗って海上保安官の仕事をしています。僕は、お父さんが働いている姿を見てカッコイイと思います。活動はお父さんに負けないくらい頑張っています。今一番楽しみは、10月中旬ごろ帰ってくるお父さんに会うことです。

■石井渚紗さん 中2



海洋少年団にはいろいろな活動があって、その中でもカヌーや青い羽根募金の活動が好きです。苦手なのは手旗



小雨の中、少年団によりきれいに清められた祭場で厳かに献花式が営まれた。黙とうが続いて、一人ずつ白菊を捧げた

信号でなかなか上手くできません。私は、自分のことよりも年少団員の面倒をみるのが楽しいです。

■大園桃香さん 小6



入団の動機は、先に兄妹が入団していたので当たり前のような感じで入りました。活動で一番の楽しみは、やっぱりカヌーを漕ぐことです。

■倉橋ももかさん 小4



私は海老名市に住んでいます。以前お祭の時に海洋少年団の人たちも参加していて、とってもカッコよかったです。

それで興味が湧いてきて入りました。少年団は奉仕活動のほかにたくさん行事があるので飽きません。

■益原大和くん 小4



海洋少年団の活動ではカヌーが一番好きです。日頃の練習は三笠公園付近の海で漕いでいます。自分はイベントが大好きなので、今日の清掃も楽しくやっています。この間は「ペリ1祭」に初めて参加してとってもおもしろかったです。

■石井勇太くん 小4



自分もみんなと同じカヌーの練習が一番好きです。カヌーには一人乗りと二人乗りがあって、一人乗りの方が断然おもしろいです。

■大園裕也くん 高2



親の勧めで海洋少年団に入団したけれど、高校生になっても活動を続けています。年長者なので下級生の面倒を看る機会が多いが、それなりに楽しくやっています。今、工業高校に在学中で卒業後は就職の予定だが、少年団の活動はずっと続けたい。できれば指導者になりたいと思う。



平成24年7月1日から10月末日までの間に、次の皆様からご寄付ならびに終戦記念日献花式供花料をいただきました。皆様のご厚情に感謝申し上げます。本会の事業は、基本財産運用益のほか、主に海運・水産等の会社や海事関係団体が加入する賛助会員と、ご遺族や篤志家の方々が加入する協賛会員の会費などによって支えられています。

◇寄付金

(順不同)

- ▽武智弘忠様 (伊予市) ▽室井澄生様 (横浜市) ▽泉友会様 (横浜市)
- ▽海友会様 (高知市) ▽(株)NHKプラネット様 (大阪市) ▽小宮康治様 (大和市)
- ▽芽出隆子様 (横浜市) ▽大西茂雄様 (東京都世田谷区) ▽海老沢岳幸様 (横浜市) ▽(株)ドキュメンタリー工房 (大阪市)

◇終戦記念日献花式供花料 (順不同)

- ▽米山隆昭様 (東京都北区) ▽都竹利年雄様 (東京都杉並区) ▽日本内航海運組合総連合会様 (東京都千代田区)

殉職船員遺族援護 遺族からのお便り

■阿部 悦子さん 宮城県石巻市

最近の憲資(中3)は、文化祭で発表する合唱の練習に頑張っています。また、少しずつ受験モードになりつつあります。援護金は、学習参考書や問題集などに使わせて頂いています。ありがとうございます。

■大竹初美さん 三重県度会郡

いつもご支援頂きありがとうございます。こちらも朝夕めっきり涼しくなっています。秋らしくなってきました。次女の玲那(小6)にとって今年の秋が小学校生活で最後の秋になります。中学生になると部活など忙しく

なるので、10月末に長女の愛梨(高2)と私の3人でドイツニerlandへ行く計画を立てています。ハロウィンで仮装してみたい! と言ってもとても楽しみにしています。

■高橋 弘子さん 宮城県石巻市

避難先から石巻市に戻って半年、相も変わらず忙しいばかりで、祖母の介護に明け暮れています。そんな中で、今日(10/1)はとってもうれいことがありました。倭(高3)が大学に合格しました! 悩みの種がまた一つ増えましたが、二人で良く相談して行かせてあげられるよう

頑張ろうと思っています。
■高橋 倭さん 宮城県石巻市



もう少し、もう少しと思いながら続けてきた仙台通学がようやく終わろうとしています。僕は来年3月に高校を卒業します。中学から6年間、一人では絶対できなかった通学が残りわずかとなり、寂しさと嬉しさが入り混じるとても複雑な気持ちです。でも、母の負担が少しでも軽くなるのがとてもうれしい。

母は、兄(飛翔)の時から弁当作りや送迎を毎日9年間も一人で頑張ってくれました。今、改めて母の偉大さと愛情を噛みしめています。

僕が幼稚園の時に父が亡くなって、母は一人で祖父母と僕たち兄弟の生活を何不自由なく面倒を見てくれています。両親そろった家庭でも大変なのに、兄弟二人を大学へ行かせてくれる母に感謝の言葉のほか何も浮かびません。

一人暮らしの大学生活への不安と希望で胸がいっぱいですが、震災で亡くなった友人たちの分まで頑張っで色々な事を学びたいと思います。

★ 殉職船員の遺児たちを守る制度 ★ 知らない人に教えてください!! ★

返還義務のない制度

当会の殉職船員遺族援護事業は、商船等に乗船中、海難や労災事故で殉職した船員の遺児(誕生から高校卒業まで)に援護金を支給する制度で、返還の義務はありません。支給額は1人月額8千円。入学時には小学生3万円、中学・高校生には、それぞれ1万円が支給されます。詳しくは、当会事務局にお問い合わせください。なお、漁船船員の場合は、「漁船海難遺児育英会」が援護事業を行っています。

全国5カ所の慰霊祭へ献花手向け 御霊の冥福と海上平和を祈念

戦没船員の碑及び殉職船員碑の維持管理等に対する協力

本会の事業の中に、戦没船員の碑及び殉職船員の碑の維持管理等に対する協力という事項がある。前者は、観音崎公園にある慰霊碑群で、建立後、神奈川県が採納・管理している慰霊碑のこと。後者は全国に5百カ所以上ある物故船員の碑で、このうち恒例として慰霊祭を営む主催者に対して甲意をお伝えしている。

平成24年度、全国で営まれた殉職船員慰霊祭は左記の5カ所で、前川弘幸会長名で献花が捧げられ、物故船員の冥福をお祈りし、海洋永遠の平和を祈願した。(開催日順)

▽殉職船員慰霊祭
7月4日、北九州市門司区・真光寺、北九州海の日

協賛会

▽物故船員慰霊祭

7月6日、横浜市西区・赤門東福寺「海の月間」横浜地区実行委員会

▽海の殉難者慰霊祭

8月30日、向ヶ森慰霊碑前広場、唐桑町海の殉難者慰霊碑保存会

▽物故船員慰霊祭

10月25日、福岡市西公園・光雲神社、福岡海寿会

▽久田船長殉難110年記念祭

10月29日、石川県能登町・久田船長石碑前、久田船長顕彰会

昨年、第50回小樽物故船員合同慰霊祭を挙行した小樽船員OB会は、会員の高齢化が進んで運営が困難な状況に至ったため式典の開催を断念し、今後は毎年8月20日に有志による慰霊碑清掃と一筋の香煙を手向けることになった。

唐桑町海の殉難者慰霊祭



気仙沼市向ヶ森の「海の殉難者慰霊碑」

昨年8月30日、気仙沼市の向ヶ森慰霊碑前広場入口で「唐桑町海の殉難者慰霊祭」が挙行され、海難や労働災害で亡くなった船員と東日本大震災の犠牲者814柱の御霊の冥福を祈った。

唐桑町海の殉難者慰霊碑保存会が主催する式典は毎年、晦日盆にあたるこの日に行われ、今年は遺族ら150人が参列した。読経が流れる中、

それぞれの思いを胸に焼香が続き、御霊の鎮魂と冥福を祈った。

小山利喜男会長は、「多くの尊い命と財産を奪い、完膚なきまでの被害をもたらした東日本大震災からの復興は、ようやく緒にのいたばかり。犠牲を無駄にせず、気仙沼魂で美しい風土を取り戻す」と誓った。

気仙沼市の菅原茂市長は「故人の

意志に報いるためにも早期復興を果たして豊かな海を守り、遺族の福祉向上に努める」と述べた。

海員組合の鈴木敏気仙沼支長は「気仙沼と唐桑の船員は、生活と漁業への志を持って船出した。心ならずも殉職した船員を記憶に留め、顕彰することが何よりも供養となる」と述べ、海難事故の撲滅を誓った。

常務理事の交代 上野から岡本へ

昨年12月20日付で常務理事が交代した。業務執行役員の交代は、昨年7月に理事長が交代してから半年のことで、公益事業がいささかも滞ることがないよう、少ない職員で全力投球することになっている。

本船員厚生協会が運営する国際船員センター「ナビオス横浜」の前総支配人で、昨年9月、帆船日本丸の「横浜みなと博物館」で開催した第38回「戦時徴用船の最期」大久保一郎遺作展では、法人特約を交して遠方からの来場者の便宜を図った。

編集後記

主要記事は第38回「戦時徴用船の最期」大久保一郎遺作展。追悼式と並ぶ一大イベントなので遺族や関係者が多い。例年アンケートを実施して様々な声を紹介するため紙面を割いている。昨年に続いて今年の会場も夏の博物館。特に帆船日本丸とのセット会場には多くの子供たちが来場したが、声が少なく掲載は絞られた。とりわけ20代30代の関心の低さが目立ち時代を物語る▼絵画展の名称を変えてみた。従来の「戦時徴用船遭難の記録画展」は、ズバリ記録画に重点が置かれていて作者の存在が薄い。もちろん戦時徴用船の遭難

がテーマであり外すことはできない。名称はこれまでも微妙に変化の跡が見られるが、画家が描いた絵の展覧会という趣旨に異論なきものと思う▼9面、橋本氏の寄稿「銀河丸」慰霊の旅は、半年遅れの掲載となりお詫びしたい。戦後67年を経て戦没者を追悼する場面が次第に薄れつつある。中でも洋上慰霊は困難を極め、望めど叶わぬ思いの一つでもあるが、前号の井上廣氏に続いて、本号も困難を克服して慰霊祭を遂行した橋本家の皆様の労苦には頭が下がる▼このところの投稿がうれしい。紙面の活況に引き続き協力を(編集者)